



## 学び方はいろいろ

校長 岩元 邦俊

先月行われた合同運動会のプログラムのカラー印刷をするのを自信満々で、偉そうに買って出ました。しかし、思ったより手強く、簡単にはできませんでした。当初は、綺麗に印刷した物を PDF にして表裏印刷すればいいと考えましたが、どうしても端に隙間ができ、黒い印刷部分となって、見栄えが悪いのでやめました。データが、Excel データで各面が別々のシートに保存されていたので集約印刷ができないかと考えました。私の知る Excel の機能で試してみたり、Word に貼り付けたり、PDF 変換してみたりと悪戦苦闘しましたが、結局上手くいきませんでした。

最後はネットの力に頼ることになり、検索をすると丁寧に説明がありました。各シートの集約印刷の方法が載っており、その説明でも何度か失敗しましたが、ようやく印刷ができました。結果、150枚印刷に●●時までかかってしまいました。でも、Excel の新しい機能を知ることができ、大満足でした。

自分で課題を見つけ、失敗体験をし、自ら課題解決の方法を探り、その結果、課題を解決しました。これこそが今の学び方ではないでしょうか。と自負していましたが、…（これこそ探究的な学び？ではないですね。最初から、ネットで調べてたら…）

先日、将棋界前人未踏の“八冠”を達成した藤井聡太八冠。5歳から始め、日々将棋に明け暮れていたとのこと。私の素人考えでは、詰め将棋をしたり、強い相手と対戦したり、対戦相手の戦術を研究したりすることなどが、レベルアップする方法だと考えていました。しかし、藤井八冠は、AI将棋を駆使し、よりよい一手を目指し、「考え、考え、考え抜いた」とも話をされていました。よりよい将棋を指すために、自分が納得できるまで考えることに徹していました。頂点に達した今でも、「伸びしろがまだある。皆さんを楽しませる将棋を指していきたい。」と21歳という若さで偉業を達成しても現状維持ではなく、常に進化続けようとする姿に感服しました。

世の中には、情報も大量に存在します。その情報をいかに分析し、活用していくかも大事な学びとなります。今、「データサイエンス」という様々なデータを集め、分析し、社会やビジネスの課題解決策を探り、新たな価値を作り出す学問もあり、今後（もう既に始まっています）、こういった学問が大事なこととなっていきます。

これからの学びは、教えてもらうことばかりでなく、自ら疑問をもつこと、より知ろうとすること・興味をもつことから始まり、その疑問や課題を自分で（協働で）解決するためにあらゆる方法を駆使して解決することです。「学び」を知る楽しみ、分かる楽しみ、解決する楽しみに変換し、体感していきましょう。私もワクワクできる「学び」をしていきたいです。

## 学習発表会の準備が進められています。



【1年生】



【2年生】



【3年生】

11月2日（木）に実施される学習発表会に向けて各学年で準備が進められています。小中運動会が終了した後に、すぐに活動が始まりました。各学年の内容は、まだお伝えできないです。楽しみにしておいてください。

また、今回の学習発表会は、昨年度と同様に内之浦銀河アリーナで行われます。そして4年ぶりに観覧者は「制限者なし」で行われます。

保護者の方々や地域の方々も含めて多くの方々に見ていただきたいです。

最後に生徒のがんばりや成果をみていただき、保護者や地域の皆様に元気を与えられたら、と思います。よろしくお願いたします。



